

第 13 回新市将来構想策定小委員会

議 事 録

第 13 回新市将来構想策定小委員会会議録

1 会議を開催した日時及び場所

- ・日 時 平成15年10月1日(水) 午後4時
- ・場 所 長岡市役所第3委員会室

2 会議出席委員の氏名

豊口 協	二澤 和夫	山本 俊一	外山 康男
佐々木保男	熊倉 幸男	米持 昭次	坂牧宇一郎
長谷川 孝	朝日 由香	北村 公	池田 守明
伊佐 文也	小池 進	高野 徳義	野田 幹男

以上 16名

(欠席委員の氏名)

村上 雅紀

以上 1名

3 議題及び議事の要旨

別紙のとおり

長岡地域任意合併協議会新市将来構想策定小委員会

事務局（北谷）

定刻となりましたので、ただいまより長岡地域任意合併協議会第13回目の新市将来構想策定小委員会を開催いたします。

なお、本日の小委員会は、村上委員がご都合により欠席となっておりますが、半数以上の委員のご出席をいただいておりますので、会議が成立していることをご報告いたします。

それでは、お手元の次第に従いまして進めさせていただきますが、恐れ入りますが、ご発言の際はマイクを使われますようお願いいたします。

それでは、議事に入ります。この後の進行につきましては、豊口委員長よりお願いいたします。

委員長（豊口 協）

それでは、これから13回目の協議会を開かせていただきたいと思います。

過去12回にわたりまして、いろいろ多角的なご意見をいただきました。また、市民になられる方々からも非常に多くのご意見をいただきまして、ようやく内容が固まってまいりまして、12回の回では、その内容について大体の方向を確認していただいたものと思っております。12回目にはかなりのいろんなご意見をいただきまして、それを事務局の方でさらに修正をいたしまして、きょう最終案としてお諮りをしたいということになっております。きょうもいろいろご意見がおりと思いますが、ひとつよろしくご協力をいただきたいと思います。

それでは、最初に事務局の方から最終案といいますが、将来構想案につきましてご説明をしていただきたいと思います。

事務局（北谷）

まず、私の方から大きな修正点を申し上げたいと思います。

前回の小委員会で山本委員から、前段が少し長くて、本当のポイントである将来のビジョンまでたどりつくのにボリュームがあり過ぎるんじゃないかというご指摘を受けました。それで、全体の流れは変えませんが、例えば20ページをごらんください。20ページには地域アンケート調査と書いてあります。

右下に20と書いてございます。右下、済みません、今日のページ数はすべて右下のページ数でよろしくをお願いします。

「左」という声あり

事務局（北谷）

右と左下ですね。左が奇数になっていると思いますが、右下の20というページごらんいただきたいんですが、地域アンケート調査と書いてあります。これは、いわゆるバックデータのものですので、この20ページから32ページまでを後ろへ持っていくようにさせていただきます。まことに恐縮なんです

が、今日この会議には間に合いませんでしたが、7日にはそういった形で協議会の方に提出したいと思
います。ですから、全体の構想案の流れ自体は変わりませんが、そういうところ。もう一つ、右下のペ
ージで42ページございますが、こういうデータのものをまとめて後ろの方へ持っていく構成にさせて
いただきたいと思います。これは、お願いかつご報告でございますが、よろしく願いいたします。

あと細かい前回いただきましたご意見を踏まえた修正については、担当の方から報告いたします。

事務局（竹見）

それでは、ご報告いたします。失礼ながら座って説明させていただきます。

それでは、お手元の新市将来構想をごらんください。表紙につきましては、ちょっと都市的なイメ
ージということで今回考えさせていただきました。ただ、今デザインについては作成中でございますので、
ちょっと表紙の方はもう少し別なデザインに変わります。

それから、次のページめくっていただきますとオープニングがありますけども、上の方に越路町の夜
景を入れておきましたけども、こちらちょっと変更の可能性がございます。

続きまして、次のページ、3ページ、4ページでございますけれども、まちづくりの足跡というこ
とで前回いろいろご意見いただきましたんで、各市町村の歴史的な人物あるいは歴史的な出来事というも
のを各市町村のご担当といろいろお話を伺いながら、こちらの方に載せさせていただきました。

大きな変更点でございますけれども、左側の3ページから孫、爺。爺がしゃべっているところですが、
こちらがちょっと変更しております。

それから、4ページの一番右側の方から上から申し上げますけれども、越路町さんの哲学者、井上円
了さんのお話をに入れておきました。

それから、中ほどにいきますと、見附市さんの大橋一蔵さんの明訓高校のお話とかというものを載せ
ております。

それから、下の方にいきますと、三島町さんの当時は珍しいそういう鉄筋コンクリートの新校舎を建
てたということで、教育を大切にする気質を載せておきました。

次、5ページお願いします。5ページの左側の中段の爺のお話の中で、中之島町さんの大竹貫一さん
の刈谷田川の改修、あるいは大河津分水のそういった治水事業のお話を掲載させていただいております。

それから、5ページの右側、下の欄なんですけども、山古志村さんの中山隧道の、今日も経済新聞に
載ってございましたけども、中山隧道のドキュメンタリーのお話を載せております。

それから、6ページ目の左側の上の爺のお話なんですけど、小国町さんの名物の和紙、いわゆる雪を
使ったそういう自然を生かした技というものを載せております。

それから、下の栃尾市さんなんですけど、あぶらげのお話を載せております。

以上、こういう形でまちづくりの足跡につきましては訂正をさせていただきました。

続きまして、9ページごらんください。第1部の次のページです。9ページの上から三つ目の丸なん
ですが、そちらの説明文につきましてちょっとわかりにくいというご意見いただきましたんで、わかり

やすく訂正させていただいております。

それから、10ページ目でございますけれども、前回「市町村建設計画」という形で載せておいたんですけれども、ちょっとわかりにくいということで、「建設計画」という形で訂正をしております。

続きまして、11ページをごらんください。11ページは、課題2の解決の視点の一つ目でございますけれども、こちらもし少しわかりづらいということでございましたので、こういった文章にわかりやすく変えております。

それから、ちょっと細かい点は、価値観の「観」という字が12ページの方に違っていたんで、直しておきました。

それから、第2部の左のコラムでございますけれども、こちらもちっと後で委員さんの方からわかりづらいということで、コラムの上の方を直しておきました。

それから、後で委員さんの方からご意見いただいたんですけど、リナックスの説明があった方がいいということで、コラムの下のリナックスの説明をつけ加えさせていただきました。

それから、24ページをごらんください。調査結果の5-2の説明文の下から3行目でございますけれども、こちらの説明の部分が当初「「観光資源開発や観光産業の振興」は現状評価に比べると」という表現でしたけども、「現状評価は低いですが」という形で、わかるように直しておきました。

続きまして、27ページをごらんください。こちらは、まちづくりワークショップということで、ワークショップの説明をこちらの表題の下の方にワークショップ、参加型検討会という形で横文字もわかりやすくご説明をしております。

それから、30ページをごらんください。こちらの産業振興関連のところの部分ですけれども、工業都市としての発展のその下側の段ですが、エグジビジョン都市というところに注釈を下の方に入れさせていただきます。

それから、33、34ページをごらんください。こちらにつきましては、キーワードを設定するに当たって、もう少しわかりやすく左側のページの上の方に図を入れておきました。

それから、38ページをごらんください。これも今まで提出させていただいた資料でございますけれども、地域らしさ価値の構築イメージがわかりやすくなりますように、こういった図面を追加をしております。

それから、39、40ページをごらんください。少し前回までの資料で地域らしさ価値、キーワードから具体化方針を求めて、それから地域らしさ価値につなぐ部分がちょっとわかりづらかったので、右側の方に、ごらんいただくとわかりますように、具体化方針ごとに地域らしさ価値の番号を振っております。左側の方もちょっと図を入れてわかりやすくしました。

それから、42ページをごらんください。地域の強みで右側の交通の要衝性でございますけれども、前回の小委員会でいろいろご意見いただきまして、データが前回古いということで実測、今回デジタルマップをつくりましたけども、そのデジタルマップの中で実際に距離を図りました。下の方をごらんにな

っていただきますと、最新のデータにかえております。ただ、ちょっと旅行速度が設定できませんでしたので、高速インターまでの時間につきましては、今回は省かせていただきました。あとルートについても最新のルートにかえております。

それから、48ページをごらんください。こちらは、新市地域らしさ価値の説明を上の方に四角で囲みまして、地域らしさ価値ごとに同じ表現で説明をつけ加えさせていただきました。

それから、58ページをごらんください。こちらにつきましても、わかりやすく図を入れております。

それから、60ページでございます。こちらは、重点実現項目を整理しておりますけれども、上側の方に緑でくくって、重点実現項目の説明をしております。これすべて重点実現項目ごとに同じ説明を入れておきました。

それから、69、70ページをごらんください。前回までは、第4部からのつなぎの部分なかったので、今回全体の流れ、それから実際ワークショップの説明をつけ加えさせていただいております。左側の検討全体の流れ、それから解説、そして右側がワークショップのプログラムの内容です。

それから、地域の夢、これから8市町村の、まだ担当の方といろいろ調整をさせていただいております。ですので、ごらんになっていただくとまだちょっと文章とかもう少し詰めさせていただくということと、写真も担当の方からもいろいろ選んでいただいたり、こちらも選んだりして、少し写真も変わったり、また今回ないところについては埋めていきたいと考えております。

それから、105ページ、106ページ、ごらんください。こちらのコーナーは、新市全体での取り組みということで、今回は一つの地域らしさ価値ごとに1ページにしております。下の方をごらんになっていただくとおわかりのように、イメージ写真を入れまして、全体の取り組みのイメージがわかりやすいような形で構成をしております。

それから、今後の作業なんですが、右側の展開の例、こちらについては、数をもう少しふやして7日については完成度を高めていきたいと考えています。それぞれ地域らしさ価値ごとに写真を入れております。

それから、第5部でございますけれども、こちらは117ページをごらんください。財政シミュレーションのグラフの下の二つ目の四角なんですけど、こちらの将来予測について注意する点をつけ加えさせていただいております。実体の運営を助ける目安としては重要ですが、予言ではないことを理解しておく必要があるということをつけ加えております。

それぞれ、118ページでございますけれども、(2)の黒丸でいくと3番目です。「行政は、オーナーである市民が」の次なんですけど、「性別や年齢にとらわれず地域経営に」という表現を追加しております。

あと夢のカタチにつきましては、イラストの色を塗りまして、あと写真につきましても、もう少しイメージを膨らませるものを入れております。

一応7日に向けて訂正を今も随時更新しておりまして、7日の日はほぼ完成に近い形で写真あるいは

表紙とか中のイラストも完成度を高めていきたいと考えております。

以上です。

委員長（豊口 協）

どうもありがとうございました。

今日は、最終でございまして、いろいろ問題点がありましたら、チェックをしてご意見をいただきたいと思っておりますが、何か。

事務局（竹見）

失礼いたしました。続いて、財政シミュレーションをご説明いたします。

事務局（大滝）

今ほどの将来構想書の中にもございましたけれども、もう少し詳しくご説明した資料をお配りしておりますので、「財政試算について」と書いてありますA3の紙をごらんください。この資料については前回中間報告ということでお示しいたしましたが、事務事業の調整による影響額を入れていない形でお示したわけですけれども、今回はそれについての試算が出ましたので、それらを加えまして、最終的なものいたしました。

修正したところを申し上げます。右側の方の合併に伴う財政影響額というところの2番、行政サービスの向上、住民負担の格差是正のための経費等のところですが、（1）事務事業の制度調整のところでは、協議会で示しております17の制度調整を始めまして全部で1,200ほどの事業について調整を行ったものでございますけれども、その結果なんです、ここに書いてございますように、経費の増額といたしましては20年間で239億円を見込むと。また、歳入では20年間で160億円の増収を見込むという結果になっております。

それから、もう一点修正した箇所ですが、3番の合併市町村まちづくり事業経費の（1）合併まちづくり事業でございます。これは、合併特例債を使った建設事業についてでございますけれども、そこに書いてありますように、10年間で最大674億円の事業が実施できますということなんです、今ほど申し上げました事務事業の調整を織り込んだ中で、将来の財政負担も考慮いたしまして、ハード事業について事業量の調整を行いまして、今回その85%、573億円で試算をいたしております。その結果なんです、左側の方を見ていただきますが、下の方ですけど、合併しない場合の収支見込額、ここについては前回と同じですけれども、一番下の合併した場合の収支見込額でございます。これにつきまして中間報告より黒字が少なくなりまして、中間報告では平成36年度の収支の累計を見ていただきますと、前は70億円であったものが今回は28億円ということで42億円少なくなりましたけれども、ごらんのとおり20年間は黒字が確保されるというものでございます。

以上で説明を終わります。

委員長（豊口 協）

どうもありがとうございました。

それでは、最初に将来構想案の方につきましてご意見をいただいてまいりたいと思いますが、全体を通して何かお気づきの点がありましたら、最初にご意見いただきたいと思いますが、前よりも非常に理解しやすくなったとか、それから非常に見やすくなったとか、いろいろご意見があると思いますが、最初のまちづくりの足跡、ページ数でいきますと3、4、5、6ですが、この内容はかなり大きく変わっておりますけれども、この辺でこの間大分ご意見をいただきましたが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

ほかに何か。よろしいですか。

では、大変きれいにそれぞれの8市町村の歴史的な視点から見ていただきまして、それぞれの内容が非常に盛り込まれているということになりました。どうもありがとうございました。

それでは、引き続きまして10ページのところですが、これは字句の変更なんですけれども、建設計画というふうに右側の一番下、10ページのところに、言葉は変わっております。これはよろしいですね。それから、途中説明がなかったところは特に変更はないと思いますけれども。

次に、27、28ページ、この左側の進め方と基本プログラムという緑の枠組みがありまして、その最初のワークショップの件、このワークショップが非常にわかりにくいということで、さらに詳しく説明がされております。この辺はいかがでしょうか。よろしいですか。はい、ありがとうございます。

続きまして、これは30ページですけれども、エキジビションというのがわかりにくいということで、そのことの説明もさらに付加されてありまして、非常にわかりやすくなったと思います。これもよろしいですね。

あとは38ページですか、これもわかりやすい図柄を入れていただきましたので、非常に理解しやすくなったと。地域らしさ価値の構築イメージという図が入っております。

40ページ、これも右側のページ、地域らしさ価値の具体化方針、これも非常に理解しやすいように全体のレイアウトがまとめられていると思います。

この間非常に問題になりました42ページの地域の強みのとこの交通の要衝性というところですが、これ全面的に新しいデータで書きかえられておりますけれども、この辺何かご意見ございませんか。時間はちょっと測りにくいということで今回はこれを省いてございますけれども、間違いありませんか。よろしいですか。はい、ありがとうございます。

それから、48ページですか。独創企業が生まれ育つ都市というところの48ページの上の欄、二重囲いでもって新市地域らしさの価値ということが説明されております。これもわかりやすくなりました。

58ページもこういうわかりやすい整備をしていただいております。

その後の59ページ以降は重点実現項目ですが、右側の一番上に緑の下地に黒でもって説明書が入っておりまして、以降ずっとそういう形で内容の説明が補助されてありまして、非常にわかりやすくなったと思います。これもよろしいですね。

70ページ、自治体職員ワークショップ実施プログラムということで、これもワークショップの内容が

わかりやすく整備をされております。

あとは106ページ、新市全体の取り組みというところからの項目ですけれども、展開の例としてはもう少しこれからさらに内容は充実させていきたいという事務局からのお話がありました。下の方に写真が具体的に入っておりますけれども、この辺の写真の内容については何かご意見がございませんでしょうか。これは、写真の説明は入るんですか。

事務局(竹見)

特には入れません。

委員長(豊口 協)

特にない。ああ、そうですか。ということで特に写真の説明は入らないということですが、いかがですか。最初、これ長岡地域ですが、子供の顔が入ったり、家族が写ったり、自然が写ったり、なかなかいい写真が集められていると思いますけれども、非常に健康で明るいイメージが全体に行き渡っているような気がします。

第5部のまちづくりのこれからを考えるとこの写真、これもなかなかいい写真ですね。

それから、118ページ、左側の財政シミュレーションのところさらに細かく説明書きが入っておりまして、図の下ですが、図と図の間ですけども、説明をしていただいております。

それから、118ページの方で2と3、「行政は」というところの3番目、これも言葉をかえていただいております。「性別や年齢にとらわれず地域経営」というふうに書きかえられておりますけれども、これもわかりやすくなったと思います。そういうわけで、全体を通してさらに何かご意見、ご質問等がありましたら、お受けしたいと思っておりますけれども。

はい。

委員(長谷川 孝)

各ページに共通なんですけど、右側に例えば第3部 新ししいまちの姿・地域で共有したい価値、その下に新市統合ビジョン、この柱立てがございますね。ところが、ページ数ですと48ページから54ページ、それから2枚ほど飛んで62ページ、64ページ、66ページの右側の柱は写真とちょっとダブって見づらいんじゃないかと思えますよ。これ白抜きか何かではっきり表示できたらよろしいかと思えます。

委員長(豊口 協)

ありがとうございました。これ下地になっている写真は何かこの間のご意見ではかえたいというふうなこともありましたけど。

事務局(竹見)

60ページから66ページ、ちょっと同じ写真が入っていますんで、これ7日までに差しかえさせていただきます。あと今委員ご指摘のようにちょっと見づらいということですので、もう少し見やすい形で訂正させていただきます。

委員長(豊口 協)

ありがとうございました。よろしいですか。

ほかにご意見お願いします。

はい、よろしくお願いします。

委員（米持昭次）

24ページで先ほど訂正があったところの調査表5 - 2の下の方の先ほど訂正があった「「観光資源開発や観光産業の振興」は、現状評価は低いですが、重要度は高く、課題一つとなっています」と。「課題の一つ」かなと。これは細かいですけど。

委員長（豊口 協）

どうもありがとうございました。

まだわかりにくいとか、見づらいつうなところはございませんか。

これをベースにしてこれから先は各市町村の担当者の方が新しい市民の方に説明をしていかれると思いますけれども、これだけの内容をどう担当の方が理解をして、把握をして、そしてわかりやすくいかに新市民の方に説明をしていくか、これはこれからの非常に大きな仕事になると思いますけれども、全体を通してこれならばいいだろうというふうなご感想でもあれば、またいただきたいと思いますが。

はい、お願いいたします。

委員（朝日由香）

見やすさという点でのことなんですけど、内容については特に意見ないんですが、一番最初の目次のところを見ると、1部、2部というふうに、1部から5部まで項目が分けられていて、かなりボリュームがいろいろ盛り込まれているわけですね。これ1枚、1枚、何ページ、何ページとずっと見ていくと、やっぱりなかなか一般の方わかりにくいと思うんです。それで、よく本とか資料をこういうふうに横から見たときに、1部のところは色分けしてあって、ここからここまでは1部ですよというふうにすぐに見分けられるようにしていただいて、1部のところを全体的に地域で勉強しましょうとか、解説していただきましょうというふうになったときに、ぱっと開けるような何か工夫をお願いしたいなと思います。

委員長（豊口 協）

英語の辞書みたいなもんですね。そういうことができればひとつよろしくお願いしたいと思います。

はい。

委員（米持昭次）

ちょっと思いついてみたんですけど。116ページ、ここでは今までの地方自治をめぐる環境の変化ということになって、左のページの方は、115ページの方では、新市ながおかというのがうたっていないくて、これからの市町村の影響というか、そういうことがあるわけですね。右の116ページは、ここに表の中で新市ながおか、そして市民ということになっていまして、これは表題からいくと地方自治をめぐる環境変化ということですから、8市町村全体をいうかなという感じがちょっとしたもんですから。次の117ページにまいりますと、合併によって新しい市の財政状況、ここでは新しい新市ながおかということで

の考え方ということになるかと思えますけど、この辺私今ちょっと思いついたんですけど、どんなもんかなと思ったんです。

委員長（豊口 協）

これ事務局何かご説明いただければと思います。

事務局（竹見）

そうですね。ちょっと誤解を招くような表現ですので、115、116ページは一般論で新市ながおかというのは今回削った方がいいかなと思えますけれども、今ご意見伺って。

委員長（豊口 協）

じゃ、検討してください。お願いいたします。ありがとうございました。

ほかにごありませんか。

じゃ、後でまた戻りますけれども、財政試算の件でご意見、ご質問等がありましたら、お願いしたいと思えます。別の2枚つづりの紙です。

これは、支出というのは在任特例の形でやってあるんですか。

事務局（高橋）

在任特例を認めるかどうかという議論ではなくて、現時点で最大に金がかかるであろうという予想のもとに立てた将来の財政シミュレーションというふうにご理解ください。

委員長（豊口 協）

要するに在任特例でいくと大変だよということですね。わかりました。

ほかにご質問等がありましたら。はい、お願いします。

委員（野田幹男）

今の財政試算、この項目については、うちの議会でもいろいろちょっと説明が足りないじゃないのと。最初はA4の半分でしたからね。それで、もっと具体的に、それじゃどうしてどうしてこうなるんだというような議論が出ました。このたび随分詳しく影響額とかいろいろ出てまいりましたが、結構なことだと思います。ありがとうございました。

委員長（豊口 協）

ほかにご意見いただきたいと思えますが。はい、お願いいたします。

委員（野田幹男）

それと、戻るようでありますけれども、今の最後の方の120ページですか、夢のカタチというのがいわゆる将来ビジョンというか、そういうものに触れておるわけでありますけれども、イラストとか写真を挿入しながら。これ現時点で事務当局が考えられる将来ビジョンこうありたいというようなものを全部入れたというふうにご理解してよろしいんですか。

委員長（豊口 協）

今までの委員の方々のご意見をまとめてこの中に入れてあると、こういうことだと思いますが、事務

届いかがですか。

事務局（竹見）

今委員長おっしゃるとおりで、今までまちづくりワークショップとか、それからこちらの委員会でのお話を、そこから孫と爺という形のそのストーリーの中で例えばこんな夢があるんじゃないのかということ、そういう形で作っております。

委員長（豊口 協）

何か自分は発言したけど、入っていないというようなものがありましたらどうぞ。

委員（野田幹男）

夢ですから、ドリームですから、これはやはり将来にそういう次世代に夢を持たせる形によろしいと思いますかね。

委員長（豊口 協）

大体人類の夢というのはかなり可能性が高いと思うんですね、考えられる夢というのは。月へ行きたいと思ったら月へ行っちゃいましたし、火星行きたいと思っていましたと間もなく火星へ行けるようになりましたし、大体人間が考える夢は、お金はかかるかもしれませんが、可能性は高いというふうに考えておりますけど。最後に、この夢はもう一つ入れておいてほしいというふうなことはございませんか。

最後に、125ページ、126ページですが、これは事務局でも非常に細心の注意を払って名簿作成をしていただいていると思いますが、名前がちょっと違うとかそういうのは、もし見ていただいてありましたらご指摘いただきたいんですが。任意協議会の場で指摘されると、ちょっと委員会としては恥ずかしいもんですから、お目通しいただきたいと思います。

委員（長谷川 孝）

物すごく細かいことなんですが、目次、新しいまちづくりの進め方、第1部の左側にありますが、第4部、私たちの望むまちと取り組み、この山古志地域が地域の夢の「地」がちょっと半分ほどずれているんじゃないでしょうか。私のだけでしょうか。

委員長（豊口 協）

左へ出ていますね。これ頭そろえなきゃいけないですね。

委員（長谷川 孝）

だと思うんですが、私のだけでしょうか。

事務局（高橋）

すべてがそうになっています。ありがとうございました。

委員（朝日由香）

ちょっとその文字のことですと、さっき挙げた123ページの文章のところなんですが、文字間がところどころあいているんですね。

委員長（豊口 協）

ああ、そうですね。

事務局（高橋）

ありがとうございました。

委員長（豊口 協）

これ二つぐらいあいちゃっているんですかね。

委員（朝日由香）

何だかその前の122ページも「それはよそでやれないことだから、」の次ががっと空いている。

委員長（豊口 協）

これちょっと字間を調整していただかないとまずいと思います。

委員（朝日由香）

前の方も、食のブランドのところも。

委員長（豊口 協）

これ済みません、全体をもう一度ちょっとチェックしていただきたいと思います。

事務局（北谷）

今もチェックの方ずっとやっていますので。

委員長（豊口 協）

そうですか。お願いいたします。

委員（外山康男）

126ページの自治体職員のワークショップのところ、見附市が町になっています。

委員（佐々木保男）

済みません、これもちょっと細かい点で、4ページ、3ページの方で。まず、3ページの方の右側の方に「蒼紫神社」云々とありますよね。それから、「招魂社はぼしん」と平仮名であって、次に漢字で「戊辰戦争」になっていますね。何かそれ、その後に「せいなんのえき」というのも平仮名で書いてあって、次に漢字で書いてある。今度4ページへいきますと「おおはしかずぞう大橋一蔵」、平仮名で書いてあって次に漢字になっている。何か特別な意図はあるんですか。

委員長（豊口 協）

これは漢字にするんですね。

事務局（高橋）

申しわけありませんが、ルビを漢字に振るのが印刷の段階で前に来てしまったということで、これは引き続きよく見ますので、ありがとうございます。

委員（外山康男）

30ページの生活環境の中の一番下の説明が上にあったような気がしましたが。

委員長（豊口 協）

これはそうですね、おかしいですね。

事務局（高橋）

ちょっとつじつまが合わないようなので、もう一回ここ整理をします。ありがとうございます。

委員（伊佐文也）

4 ページなんですけど、右側のところ、井上円了と大橋一蔵の文章のところで、大橋さんのところは新潟明訓高校の前身の明訓校と、井上円了のところは東洋大学の前身とありますので、できればちょっとくどいようですが、長岡洋学校というのは何だという話が出ますと何々高校の前身というような文言にならないでしょうか。

委員長（豊口 協）

これはいかがでしょうか。

委員（伊佐文也）

普通にいけば具体的な高校名を入れてもらう必要もないかもわかりませんが、大橋さんのところには新潟明訓高校の前身の明訓校、こうなっていますから、この辺のバランスといえますか、後で考えて検討していただければ。

委員長（豊口 協）

はい、わかりました。ありがとうございました。関係をもう少しわかりやすくということで。

大体ご意見はいただけたと思いますが、はい、お願いいたします。

委員（野田幹男）

表紙のすぐ次なんですけど、越路町の全景が出ていますよね。これ表紙のすぐ次にごあいさつというのが来るわけでしょう。それで、今度は1 ページはそれとはまたページ数は違って来るわけですよね、これ今度は半分に切るわけですから。事務局、さっきこの越路町のイメージは後で変えますという話ししましたっけ。だとすればよろしいんですけど、これをそのまま載っけるということになると、1 ページの写真が何か余り見栄えがしない形になっちゃうんじゃないか。

事務局（竹見）

ページがこれ間違えていまして、左が1 で2 で、ちょうど見開きになるんですね。ページを間違えていましたので、失礼しました。

委員長（豊口 協）

ということだそうです。ページつけ間違いということですよ。

委員（野田幹男）

それといま1 点、この前に私申し上げたんですけども、表紙2 枚あってどちらにするかという意見があったんですけど、私は表紙は新ながおかの都市の高層のビルみたいなイメージとしても、田園都市ですから、裏表紙にそういうものを入れたらやわらかくなるんじゃないかなということを申し上げたんで

すが、事務局は裏表紙はこれでいくということですか。

事務局（竹見）

できれば本日いろいろご意見伺いたいんですけども。

委員（野田幹男）

長岡を中心とした八つの市町村のみんな、長岡、見附さんあたりは別としてもあとはみんな農村地帯ですよ。言うなれば田園都市ということになるから、やはり裏にもバックとして青みが何かあったらなという感じがするんで、やわらかい感じになるんじゃないかと感じます。田園都市という構想をひとつPRしたらよからうというふうに私は考えるんですけど。

委員長（豊口 協）

ほかに何かご意見ございませんか。この八つの玉今見ますとみんな自然風景ではあるんですけど。表紙と裏表紙と同じぐらいの重さをつけちゃいますと、そういうやり方もあるんですけども、どうでしょうか。

委員（野田幹男）

これ、かえて白い方が浮き立つんでしょかね、裏表紙。

委員長（豊口 協）

これはデザインのというか、編集者の考え方だと思いますけれども。できるだけ裏表紙には田園都市としての印象を強くしてほしいと、こういうことですね。はい、わかりました。事務局、できるだけ裏表紙に田園都市としての印象が強くなるようなデザインをしてほしいと、こういうことです。これ内容がちょっとわかりにくいんですけども、もう少し例えばこの赤いのは何ですか、上の。

「紅葉ですか」という声あり

事務局（竹見）

紅葉です。

委員長（豊口 協）

もう少しわかりやすくひとつお願いいたします。印象も田園都市の印象が強くなるようにひとつお願いしたいと思います。

今日は時間がたっぷりございますので、見ていただいてご意見をとりたいんですけども、もし大体この辺でご意見が終わりのようでしたら。

委員（外山康男）

先ほど説明の中で見落としたんですが、地域の写真なんかまだ未完成のようですが。

委員長（豊口 協）

いつごろまでをお願いすればよろしいですか、差し替えも含め。

事務局（北谷）

早い方がいいです。

委員長（豊口 協）

早くお願いしたいと。よろしいですか。ご意見も出尽くしたと思いますので、これで最終的に事務局の方に修正をしていただいて、そして次の協議会にこれを持ち込むということになると思います。

長い13回にわたりまして毎回活発なご意見をいただきまして、特に事務局の方も大変ご苦労されて内容をまとめてくださいました。これがこれから将来の新たなおかの大きな発展の軸としていつまでも市民の心の中に語り継がれるような内容を持ったものとして恐らく最終案というのはまとめられていくだろうと思います。将来何年か何十年か経ったときに、実は8市町村が合併するときにこういういろんな議論があったんだということが一つの歴史的な遺産として人々の心に残っていくだろうというふうに期待をしております。

私も委員長という大変重責をお受けいたしました、実は今だからお話しいたしますけど、最初お断りしたんです。ところが、いつの間にか委員長になっていたという、こういう不思議な関係がございまして、考えてみますとこういう仕事というのは恐らく一生の間に二度とないだろうと、大変貴重な経験をさせていただいたと思って今改めて感謝をしているわけでございます。小委員会の委員の方々もこういう仕事というのは恐らく初めてであり、そして恐らく近い将来はそうあり得ない一つの非常に壮大な構想のもとに新しい地域社会をつくっていくという、そういう仕事でございますし、大変貴重な経験をされたのではないかとこのうな気がいたします。私たちが議論した内容がやがて近い将来少しずつだんだん、だんだん、夢というお話がございましたけれども、私たちが提案した夢の世界に具体的な姿をあらわしていく日が近い将来必ずやってくるだろうというふうに期待をいたしております。半年間にわたりましていろいろご協力いただきまして、どうもありがとうございました。私も実は今日はほっとしております、今日はゆっくり寝られるんじゃないかと思っておりますけれども、これはオーバーですが、本当に委員長としては改めて御礼を申し上げたいと思います。どうもありがとうございました。

（拍手）

副委員長（二澤和夫）

何もしない副委員長でございましたが、正直申し上げて、私ども行政の立場ですと、いわゆる自治法で定める長期発展計画というのは皆さん経験をお持ちだし、またそういった検討というのはやった経験もございまして、ただこの場合にどうなるのかなというのは、最初長期発展計画との違いといいますでしょうか、その辺のなかなか整理がつかないで、私自身もそうでしたんですけれども、議論の中でも長期発展計画との区別がなかなか整理がつかないかなというふうに思うわけでございまして、今委員長さんの大変なリードで夢を語るというふうな形でこのようにまとめさせていただいたということで、大変ありがたかったのではないかとこのうに申し上げたいというふうに思います。特に豊口委員長さんは、この地域でおありじゃないというハンディにもかかわらず大変よくこの地域をご存じて、夢を語っていただき、またまとめていただけたのではないかとこのうに思います。委員長さんのご労苦に対して感謝申し上げますごあいさつにかえさせていただきたいと思っております。どうも大変あ

りがとうございました。

(拍手)

委員長(豊口 協)

それでは、この10月7日に任意協議会が開かれます。皆さん方の心からの一つの将来展望というものをベースにいたしまして、この委員会を代表しまして報告をさせていただきたいと思います。どうも本当にありがとうございました。

午後5時05分終了